## 1　近藤 修・友香

茨城県東茨城郡城里町

耕作放棄地対策、雇用,移住・定住

# Ｉターン＆未経験、ゼロから牛飼いに挑戦

### 活動の経緯

結婚10年目を機に当時の仕事や暮らしを見直し、未経験から夫婦で牛飼いを目指すことを決意。平成29年度の地域おこし協力隊イベントにおいて城里町の牛飼い募集を知り応募。

### 活動の概要

地域おこし協力隊制度を活用し、縁もゆかりもない土地で未経験から黒毛和種繁殖農家として独立就農。

研修先でロータリー作業に挑戦

放牧を始めました

### 活動の成果、主な実績等

○平成30年に、夫婦で「地域おこし協力隊」として着任。牛の繁殖農家として定住を目指しつつ、将来の複合経営も視野に、牛とイチゴをそれぞれ研究。
○31年には、研修先より母牛2を譲り受け、自治体等の斡旋により借りた牛舎において飼育を開始。
○当初は、分娩事故が続いたが、協力隊の活動時間外を利用して大規模畜産農家に通い分娩経験を積んだことで、事故がなくなる。
○経験不足を補うため、監視カメラや発情発見装置の導入による牛舎のスマート化を進め、受胎状況も順調に進む。
○耕作放棄地の活用を視野に、令和3年度から放牧を開始。